

# WILDCAT REALiZM®

## 3DLABS WILDCAT REALiZM インストール ガイド

WILDCAT REALiZM 800    WILDCAT REALiZM 500  
WILDCAT REALiZM 200    WILDCAT REALiZM 100

**3D***labs*®  
A CREATIVE Company

85G-000057-001 (Rev A)

## ©Copyright 2005 by 3Dlabs - A Creative Company

3Dlabs、Wildcat は登録商標です。Realizm、SuperScene、DirectBurst は 3Dlabsの商標です。Pentium と Xeon はIntel の登録商標です。AutoCAD は AutoDesk Incの商標です。Microsoft、Direct X、Windows 2000、Windows XP は Microsoft Corporationの登録商標です。Athlon、Opteron、3DNow! は AMDの登録商標です。他の商標、登録商標は、それぞれの権利所有者に帰属します。

**注意：**3Dlabs, Inc., Ltd. の承認を得ずに3Dlabs グラフィックス アクセラレータ カードに変更を加えた場合、ユーザに対する保証は無効になります。

**FCC 注記：**この機器は、テストされ、FCC規則パート15により、クラスBデジタル デバイスの制限に準拠することが確認されています。この制限は、居住域での有害な干渉の影響を防ぐためのものです。この機器は、無線周波数エネルギーを生成、使用し、これを放射することもあります。製品が、操作説明に従って導入、使用されない場合、無線通信に有害な干渉が及ぶことがあります。ただしこれは、干渉が他のシステムなどには及ばないことを保証するものではありません。この機器が、無線やテレビの受信に対する有害な干渉の原因となる場合（これは機器の電源を入れ直すことによって確認することができます）、干渉をなくするために以下の方法を試すことをおすすめします。

1. 受信アンテナの向きを変える。
2. 機器とレシーバの距離を長くする。
3. レシーバが接続されたコンセントとは別のコンセントに機器を接続する。
4. 3Dlabs または無線/テレビ技術者に問い合わせる。

FCC規則に準拠するには、他の機器との接続にシールド ケーブルを使用する必要があります。このデバイスは、FCC規則パート15 に準拠しています。動作は、以下の2つの条件を前提としています。1) このデバイスは、有害な干渉の原因とならないものでなければなりません。2) このデバイスは、望ましくない動作の原因となり得る干渉を含めて、どのような干渉にも対応する必要があります。

このクラスBデジタル装置は、干渉の原因となる機器に関するカナダ規制のすべての要件を満足します。Cet appareil numérique de la classe B respecte toutes les exigences du Règlement sur le matériel brouilleur du Canada.

3Dlabs, Inc., Ltd. は、本書で述べている形で製品を使用することが現在または将来の特許権を侵害しないと声明するものではなく、また、本書の情報は、この情報に従って機器やソフトウェアを複製、使用、もしくは販売するライセンスを供与することを意味するものではありません。

**仕様は予告なく変更されることがあります。**

### 3年間部品保証

3Dlabsは、ユーザ（購入者）による製品購入の日より3年間、3Dlabsにより提供される製品（ソフトウェアを除く）に物理上または製造上重大な欠陥のないことを保証します。保証期間中、製品に物理上、製造上重大な欠陥がある場合、または製品が3Dlabsのハードウェア仕様に準拠しない場合、3Dlabsまたは3Dlabs認定サービスセンターから入手可能な3DlabsRMA（返品認定）方針に従い、材料および3Dlabs社内の労役については無償で修理を行います。送料は購入者の負担となります。交換する部品/製品は、新品あるいは使用可能品であり、元の保証の残りの期間または交換部品/製品の出荷から30日間のいずれか長い期間保証されます。保証期間は、3Dlabsから別に部品/製品を購入しても延長されないものとします。購入者は、物理上または製造上の欠陥があるかどうかを3Dlabsまたは認定サービスセンターに書面により通知しなければなりません。書面は、如何なる場合も、保証期間の終了前に3Dlabsまたは認定サービスセンターに届く必要があります。購入者は購入を証明するものを提示する必要があります。この保証は、正常使用時に発生した物理上または製造上の欠陥による不具合にのみ関するものです。出荷時に発生した破損または不正な使用、改変、火災、自然災害、爆発、送電線サージ、砂塵の混入、湿度、液体、3Dlabsや3Dlabs認定サービスセンター以外のサービスなどによる不具合は対象としません。

**保証は譲渡できません。**

### 制限と除外

上記の保証は、本製品にのみ適用される保証であり、購入者のみの保証です。他の保証は、商品性、非侵害性、特定目的への適合性などの保証を含めて、行いません。3Dlabsは、本製品の使用または本保証の違反により生じた損害は、間接的か直接的かを問わず、責任を負わないものとします。州によっては直接損害または間接損害の除外や制限を禁じています。そのため前述の制限または除外は購入者に適用されないことがあります。

### アドオン デバイスの追加/削除方法について説明のある、UL記載の情報技術機器（ITE）専用

# インストールガイド

## Wildcat Realizm グラフィックス アクセラレータ カードのインストール

コンピュータのカバーの開け方、AGP 8x やPCI Express 拡張スロットの見つけ方、拡張カードの追加などについては、コンピュータのマニュアルを参照してください。ここで参照しているユーザ ガイドは、Wildcat Realizm Product CD に含まれており、3Dlabs Web サイト、<http://www.3dlabs.com/support/> から入手することもできます。

**注：** グラフィックス カードを交換する場合は、古いビデオ ドライバソフトウェアをアンインストールしてからシステムの電源を切り、古いグラフィックス カードを取り外します。ドライバのアンインストールについて詳しくは、ユーザ ガイドの「ドライバソフトウェアのインストール」を参照してください。

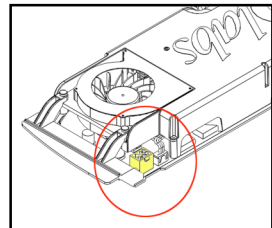
1. コンピュータの電源を切り、モニタの電源を切り、コンピュータからケーブルを外します(ユーザ ガイドの「インストールを始める前」の説明を参照してください。)
2. システムのカバーを外して、Wildcat Realizm グラフィックス アクセラレータ カードを取り付けるスロットを見つけます。カードを取り付けるスロットについては、システムのマニュアルを参照してください。
3. システムに取り付けられているグラフィックス カードをまだ取り外していない場合は、ここで取り外します。必要な場合、Wildcat Realizmグラフィックス アクセラレータ カードを取り付けるスロットから、プラス ドライバーを使ってバック パネル カバーを外します。
4. 静電気防止パッケージからWildcat Realizm グラフィックス アクセラレータ カードを取り出します。シリアル番号をメモします (製品登録などに必要です)。シリアル ナンバーは、カードの回路ボード側、バーコードの付いたラベルにあります。
5. カードを正しいスロットに差し込み、シャーシに対して固定します。カードをシャーシに固定する方法については、システムのマニュアルを参照してください。カードが正しく差し込まれていないと、アースや動作の問題が生じることがあります。
6. グラフィックス カードを挿入する前に、カードを挿入するマザーボードとシステムがカードに必要なスペースの邪魔にならないように十分注意してください。また、ドライブ ケーブルをマザーボード、既存の電源ケーブル/通信ケーブルに接続するスペースがあるかどうか確認してください。システムによっては、正しく取り付けるために、Realizm グラフィックス カードの背面にある延長ブラケットを取り外す必要があります。

**注：** グラフィックス カードの冷却ファンには、空気の流れを妨げないように十分な隙間が必要です。空気の流れが妨げられるとグラフィックス カードが過熱することがあります。コードやケーブルがファンの正しい回転を妨げないようにします。

### グラフィックス カードへの電源接続

**警告：** REALISM 100、200 または800 グラフィックス カードには補助電源を接続する必要があります。電源をカードに接続する方法についての説明に従わない場合、カードが破損します。 **注：** REALISM 500 に補助電源を接続する必要はありません。

システムの電源を入れ直す前に、システムからの補助電源をグラフィックス カードに接続する必要があります (Realizm 500 を除きます)。グラフィックス カードに差し込むケーブルがない場合は普通、グラフィックス カードをサポートする電源もありません。カードに必要な電源について詳しくは、ユーザ ガイドの「はじめに」のセクションにある「システム要件」を参照してください。



### Wildcat Realizm 800 への電源接続

Wildcat Realizm 800 (グラフィックス アクセラレータのPCI Express™ x16 グラフィックス 150W-ATX 仕様 1.0 に準拠) は、x16 PCI Expressグラフィックス カードに直接差し込むように設計されたハイエンド パワーコネクタを通じてシステム電源からの電源を使用します。

システム電源のハイエンド パワーコネクタがない場合、その電源はPCI Express ハイエンド パワー仕様に準拠していません。カードのインストールを続ける前に、システムに最小推奨所要電源があるかどうか確認する必要があります。また、システム電源に接続するには、カードに付属しているパワーYケーブルを使用する必要があります。パワーYケーブルでは、システム電源からの2つの独立した電源ケーブルを接続してカードに電源を供給することができます。

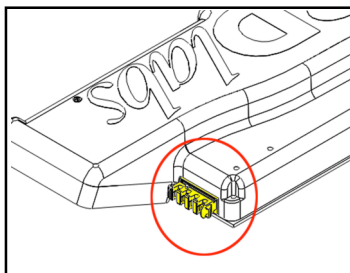
**警告：**以下の説明に従わない場合、Wildcat realizm 800 グラフィックス カードの機能を損なう恐れがあります。

1. Wildcat Realizm 800の電源接続を見つけます (前ページの図を参照)。パワーYケーブルの一端をWildcat Realizm 800に接続します。
2. 2つの独立したシステム電源ケーブルそれぞれにあるコネクタを1つ見つけます。ケーブルは互いに独立している必要があり、コネクタは電源に最も近い最初のコネクタでなければなりません。
3. パワーYケーブル (Wildcat Realizm 800に差し込んだケーブル) からの2つのコネクタをそれぞれ2つのシステム電源ケーブルに接続します。
4. 電源コードを接続する前にシステムのカバーをもとに戻します。

### Wildcat Realizm 200/100への電源接続

**警告：**以下の説明に従わない場合、グラフィックス カードの機能を損なう恐れがあります。

1. Wildcat Realizm 200/100 の電源接続を見つけます (以下の図を参照)。



2. 使用されていないシステム電源ケーブルを見つけます。電源コードがカードに届かない場合は、付属の電源延長コードをお使いください。
3. 電源ケーブルをグラフィックス カードに接続します。
4. 使用している場合は静電気防止リストストラップを外し、システムのカバーを元に戻します。
5. 電源コードを接続し直します。

### ディスプレイの接続

使用できるディスプレイ構成および入出力パネルの図については、ユーザ ガイドを参照してください。

### DVIモニタの接続

1. コンピュータの電源が入っていないことを確認します。

2. 必要な接続の種類については、モニタのマニュアルを参照してください。モニタ ケーブルのコネクタは、モニタの種類によって異なり、デジタル ビデオ インターフェイス (DVI) コネクタか、15ピンVGAコネクタです。モニタがVGAの場合は、以下の「VGAモニタの接続」を参照してください。
3. ワークステーション モニタのビデオ ケーブルを、3Dlabs Wildcat Realizmグラフィックス カードのプライマリDVI-Iポート（「1」）に接続します。

#### VGAモニタの接続

1. モニタの15ピンVGAコネクタを、Wildcat Realizmグラフィックス カードに付属のDVI/アナログアダプタのVGA端子に接続します。
2. 3Dlabs Wildcat Realizmグラフィックス カードのプライマリDVI-Iポート（「1」）にアダプタのDVI-I端を接続します。

#### Wildcat Realizm ドライバのインストール

新しいドライバ ソフトウェアをインストールする前に、既存のドライバ ソフトウェアを削除する必要があります。既存ドライバ ソフトウェアを正しく削除する方法については詳しくは、CDに入っているWildcat Realizm ユーザ ガイドを参照してください。

**注：当社 Web サイト、<http://www.3dlabs.com/support/drivers/> から最新ドライバをダウンロードすることをおすすめします。使用している Windows オペレーティング システムに合った Wildcat ドライバを使用する必要があります。不明な場合は、ドライバ供給メディアに付属の README.TXT ファイルを参照してください。ドライバ、ソフトウェア アプリケーション プログラムのインストールについては、Windows のマニュアル、オンライン ヘルプ を参照してください。**

**Wildcat Realizm グラフィックス カードを Linux オペレーティング システムにインストールする場合、ドライバとインストールの説明に関しては、3Dlabs ドライバのダウンロードに関する説明を参照してください。**

1. このドライバをインストールするのは、Windows 管理者特権を持つユーザでなければなりません。管理者特権について詳しくは、システム管理者に尋ねるか、Microsoft オペレーティング システムのユーザ マニュアルを参照してください。
2. Windowsを起動します。[新しいハードウェアの検出ウィザード]が表示されたら、[キャンセル]をクリックしてダイアログ ボックスを終了します。Windows XPで、Windows XPIによって解像度を設定するかどうか尋ねるメッセージを終了します。
3. 3Dlabs Wildcat Realizm ドライバの入っているメディアを見つけます (Realizm プロダクト CD に含まれているか、または[www.3dlabs.com](http://www.3dlabs.com)からダウンロードされたファイル)。メディアを対応するドライブにセットするか、ディレクトリを変更してドライバを見つけます。
4. Wildcat Realizm ドライバ インストール メッセージのダイアログ ボックスで[OK]をクリックしてドライバのインストールを開始します。
5. Windowsロゴに関する警告メッセージが表示された場合、[続行]をクリックしてドライバのインストールを完了する必要があります。
6. 新しい設定を有効にするにはワークステーションを再起動する必要があります。ディスク ドライブからドライバの入っているメディアを取り出します (メディア使用時)。[はい]をクリックしてワークステーションを再起動します。Windows XPで[ログオフ]、[終了オプション]、[再起動]を選択します。

#### Windows 2000の場合

最初にドライバをインストールしたとき、デュアル ヘッド ドライバをWildcat Realizm カードに登録するためにもう一度再起動する必要がある旨のメッセージが表示されます。これにより、2つのモニタを使用する場合には、デュアル ヘッド モードでの実行が可能です。詳しくは、ユーザ ガイドの「ディスプレイの設定」を参照してください。以降のドライバのインストールに必要な再起動は1回のみです。

#### Windows XPの場合

デュアル ヘッド ドライバはすでに登録されており、2回目の再起動は不要です。